

コミュニティ ふん

私と人とまちの間に

2019.JUN
121号

6

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

私、キックオフ宣言。

- 2 おなかいっぱい、ココロもいっぱい パンチャビエーナ
- 4 消防士OB、本気の防災訓練。 NPO法人しがいち防災研究所
- 6 大人になったあなたに、絵本を届けます。暮らしに絵本時間

- 8 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
- 9 より道こ道 「南笠・旧東海道の散策」
- 10 事業団からのお知らせ/まち語り 一枚の写真
- 11 見つけてスッキリ! / 草津の匠
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第33回 ため池と琵琶湖
ボイス

七夕です。天の川です。童謡「たなばたさま」では星々が光り輝く様子を「きんぎんすなご」と表現されます。すなご(砂子)とは金箔や銀箔を細かな粉にしたもので蒔絵などの装飾に使うもの。ちなみにギリシャ神話では母乳が流れ出したお話から「ミルク・ウエイ」。海に向かってでも夜空を見上げるのでしょうか。

まだかなあ

大学生のお兄さん・お姉さんと買い物に行ったよ。料理だって上手にできたんだ。盛りつけや片づけも終わったし。あとは「いただきます」だけなのに。(P2)

最近あなたは、新しく始めたことはありますか。
 熟考を重ね準備万端で始める人、まず始めてみてやりながら考えていく人、色々なタイプの人がありますが、若いも若きも何か新しいことを始めるってワクワクするもの。

新たな時代。令和を迎え最初の発行となる今号は、動き出した3つの活動をご紹介します。あなたもきつと何かを始めたくなるはず。
 さあ、あなたも一緒にキックオフ!



子どもキッチンには買い出しからスタートします。子どもたちはグルーブに分かれて近くのスーパーへ。大学生から地元産の食材を食する意味や新鮮な野菜の見分け方を教わり、値段だって見比べながら自分

たちで食材を選びます。戻ると米を炊き、野菜を切っていくます。ケガやヤケドしないための手際、作業の意味、段取りや片づけなど、大学生とおしゃべりしながら自然と学んでいきます。家からお手伝いでも、今日は最初から最後まで自分たちが主役。炒め具合、煮込み加減、食材を入れるタイミングなど五感を総動員します。その眼差しは真剣なもの。

この企画は出身地のちがうメンバーが滋賀に来てから、故郷の醤油の味のちがいに驚いた経験から生まれました。



子どもキッチンには買い出しからスタートします。子どもたちはグルーブに分かれて近くのスーパーへ。大学生から地元産の食材を食する意味や新鮮な野菜の見分け方を教わり、値段だって見比べながら自分

たちで食材を選びます。戻ると米を炊き、野菜を切っていくます。ケガやヤケドしないための手際、作業の意味、段取りや片づけなど、大学生とおしゃべりしながら自然と学んでいきます。家からお手伝いでも、今日は最初から最後まで自分たちが主役。炒め具合、煮込み加減、食材を入れるタイミングなど五感を総動員します。その眼差しは真剣なもの。

この企画は出身地のちがうメンバーが滋賀に来てから、故郷の醤油の味のちがいに驚いた経験から生まれました。

この企画は出身地のちがうメンバーが滋賀に来てから、故郷の醤油の味のちがいに驚いた経験から生まれました。



おなかいっぱい、 「コロもいっぱい」

パンチャピエーナ

パンチャピエーナ。明るく軽快な響きをもつこの言葉は、イタリア語で「おなかいっぱい」という意味だとか。こんな素敵な名前をもつ学生グループが立命館大学にあります。食マネジメント学部の学生でつくる食育促進学生団体「パンチャピエーナ」は伝統食や地元の食材を用いた食育などを通じて、子どもたちの「食」への関心と地元への愛着を育もうと、元氣一杯に活動しています。

五感を総動員

夏の日差しを思わせる5月の日曜日、フエリ工南草津の調理室に10人の小学生が集まりました。今日は「子どもキッチン」。調理や食事を楽しみながら、「食」について様々な角度から学ぶ料理教室です。本日の献立は鹿肉と地元野菜を使ったカレーです。えっ、鹿肉!? そう、今日は鹿肉を食することで獣害と自然との共生について子どもたち

たちで食材を選びます。戻ると米を炊き、野菜を切っていくます。ケガやヤケドしないための手際、作業の意味、段取りや片づけなど、大学生とおしゃべりしながら自然と学んでいきます。家からお手伝いでも、今日は最初から最後まで自分たちが主役。炒め具合、煮込み加減、食材を入れるタイミングなど五感を総動員します。その眼差しは真剣なもの。

ちがいを知ることは、 故郷を知ること

立命館大学びわこくさつキャンパスに「食」を通じて経済学・経営学・科学など様々な分野から「食」について総合的に学ぶ食マネジメント学部が全国に先がけて誕生したのは2018年。パンチャピエーナはこの食マネジメント学部の学生を中心に構成されているので、今年で活動2年目。まだ2回生と1回生のみのフレッシュな顔ぶれです。

また、小浜の子どもたちに向けた食育イベントを行う機会を与えてもらい、「醤油のテイスティング」をすることにしました。産地の異なる種類を用意し、子どもたちに味のちがいを確認してもらいます。



郷土愛を育むためには子どもたちが地元の味をしつかりと身につけることが大切なんだと改めて感じたとか。

食は心を満たす。 幸せをつくる

小浜での体験はパンチャビエーナの原点となりました。入学してわずか2か月でしたが、「この先、大学で得る学びを地域に活かしたい、そんな場が必要」と考えた萬福さん。数名の友だちに伝えたところ、同じ思いのメンバーが集まり、グループとなりました。名前はイタリア語の教授が「食は心を満たすもの。食は幸せをつくるもの」との意味を込めて「パンチャビエーナ」と命名してくれました。

こうして草津での最初の活動として、スローフードユース滋賀と全日本学生料理協会との共催で行ったのが冒頭の「子どもキッチン」です。



パンチャビエーナの夢は広がります。この「子どもキッチン」

を月に1回のペースで続けるとともに、子どもたちが農業体験と農に関わる暮らしを経験する農家民泊ができないか、と現在計画中。これは萬福さんが故郷・鹿児島で子どものころに体験したことが土台になっているそうで、夢は膨らむばかりです。

最近の若者ときたら…とはいつの時代も大人の常套句ですが、「チャレンジすることで自分も成長できる」「尊敬できる仲間たちと活動できるのが面白い」と話す若者たちを見ていると、なかなかどうして、頼もしいかぎり。

食マネジメント学部のコッセプトに「食のおいしさを、科学的に解き明かす人。食をキッカケに、新たなビジネスを生み出す人。食のチカラで、社会を幸せにする方法を考える人」とありました。食べることは生きること。「世界をおいしく、おもしろく」しようとする若者たちとまちの未来に期待がふくらみます。

さあ、あなたは今日、何を食えますか。

まんぶくあゆみ
萬福天弓さん
2回生・鹿児島出身



成長する姿、
両親に見せたい

立命館に食マネジメント学部ができると知り、どうしても学びたくて進路を変えて鹿児島から来ました。将来は地元に戻り、食に関わる仕事がしたい。今は家族と離れて暮らしていますが、笑顔で食卓を囲む風景はいつも私の心の中。食を通じて成長する姿を両親に見せたい。ここに仲間がいることが楽しいし、感謝です。

わたなべりょうと
渡邊諒人さん
2回生・千葉出身



日本の文化を
海外に伝えたい

実家は京料理の店。子どものころから父の仕事や料理を見てきたので「食」はいつも身近に感じていました。今は京都の割烹料理店でアルバイト中。厳しい世界ですが、お客様の笑顔で「がんばろう」という気持ちになります。大学での学びを草津で実践し、将来は日本の文化を海外に伝えたいです。

うちほりそよか
内堀颯香さん
2回生・千葉出身



本当にしたいこと
4年間で見つける

食べることが大好き。自分が本当にしたいことを見つけたくてこの学部に入りました。小浜では「食べる」だけではない知識を学び、食の広がりを実感。皆のような明確な目標はこれからですが、「ここが入り口だから」とメンバーに誘ってもらったことに感謝。この4年間で様々なつながりをつくり、おもしろい情報を発信していきたい。

おおた かいと
太田凱人さん
2回生・北海道出身



高齢者の知恵に
勝るものはない

実家のある旭川は自然豊かな地。森の緑や川を見ていると、土地が食とつながっていることを実感します。食事はいつも母の手作りだったことも食への関心につながりました。食に関するビジネスを学び、将来はふるさとで仕事をしたい。小浜では「高齢者の知恵に勝るものはない。何とか残したい」と実感。様々な地域の食育を学びたい。

消防士OB、本気の防災訓練。

あなたのまちで、職場で、学校で行われる消防訓練や避難訓練はどのようなものですか？もちろん訓練を通じて日ごろから備えておくことが大切です。でもいつの間にか「マンネリ化してしまった」「実際の日常とかけ離れてしまった」って、ところも多いのではないのでしょうか。全国的にも珍しい、消防士OBによるNPO法人がこ草津に誕生しました。防災のプロだからその『楽しく本気の防災訓練』をモットーに、あなたのまちの防災まちづくりをお手伝いします。

NPO 法人
しがいち防災研究所
いわさたくみ
岩佐卓實さん(67歳)



あなたなら、どうする

「大地震が発生。小学校にいる子どもを急いで迎えに行く途中、人が生き埋めになっているのを発見。周りには誰もいません。でも、わが子も心配。あなたは目の前の人を助けますか」

さて、あなたならどうしますか。これは阪神・淡路大震災での「実話」がもとになった教材「クロスロードゲーム」での設問のひとつです。実際に震災が起これば、このような苦悩する選択の連続。しかも瞬時に判断を迫られます。

この訓練は地震災害に直面した場合を想定し「イエス／ノー」で判断しながら、参加者みんな



で防災を考えていく防災疑似体験ゲームです。老上学区まちづくり協議会の防災講座のひとつ。重いテーマも、しがいち防災研究所の岩佐さんの巧みな話で、笑いの絶えない、あつという間の90分です。

失敗から学ぶ

NPO法人しがいち防災研究所は消防士を退職した9人の

他、防災士、危険物取扱者、建築士など13人の、いわば防災のブ口集団です。

代表の岩佐さんは消防署を定年後、その経験を活かして草津市(危機管理課)に勤務しました。市役所では地域の防災計画、消防や防犯について市民の皆さんと直接対話する機会も多く、まるで若手のころに戻ったように新鮮な気持ちで仕事ができたとのこと。

「市役所での5年間で多くのことを学び、同じくらい失敗も重ねましたよ。地域の方からもよくお叱りを受けたりしたけど、この経験とつながりこそが財産になりました」

とある高齢者サロンで防災の話をしたときのこと。「草津は災害も少ない地域ですが…」と話

し終えた後、高齢の女性に話しかけられました。和歌山から草津に嫁いできた人で、昭和南海地震に遭い、高台めざして一目散に走ったときの恐ろしかった気持ちを話してくれました。

「身をもつての話とはこのこと。実際に体験した人しかできない話は胸に響きます。私がする通りいつべんの話よりも、よほど災害の恐ろしさ・防災の心構えが伝わります。『災害の語り部』って大切な存在だと感じました」

3分の防災訓練

また、若いママさんたちのグループから相談がありました。「草津に引越してきて知り合いない。住んでいるところは町内会がない。あつても声が届きにくい。もし、子どもと自分しかない時に地震や火事が起こったらどうしたらいいの」と、そんなお母さんたちからの防災

訓練の依頼です。

でも「赤ん坊がグズるので話は3分にまとめて欲しい。」「えっ、3分!?」驚きましたが、なんとかしたい。それではと消防署で体験を交えた訓練に切りかえました。

こんなこともありました。あるまちの防災訓練に行くことになり、ビニル袋でご飯を炊く訓練をしようと思い、「50人分ほど



岩佐卓實さん



市での5年間を終えようとした頃、「せっかく消防で培ったものを活かさないか」との思いが頭をもたげました。同じく定年を迎えた同僚などにも話すと、

立ちあがるプロたち

こういった地域の人たちとの出会いは、失敗も含め貴重な経験。すべて今の活動につながっています。

用意しておいてください」と気安く頼んでおきました。後日、地域の役員さんから「50人分炊こうと思つたら、鍋がいくついると思つているのか」との電話がありました。そう、私は実際に50人分を一度につくったことがなかったのです。

同じような思いをもっていたのです。もちろん、地域の役員なんかになると、経験や知識を活かす場面もありますが、役が終わればそれまで。

「みんな何かやりたいけど、きつかけがない。まず形がないと、私たちOBのこんな思いも一つになれない」と思い、NPO法人を創ることにしたのです。やりたいことはハッキリしていました。消防署や役所は忙しく、全ての地域防災にまで手が回らない。行政と地域の間隙に陥る部分にこそ、自分たちが培ったノウハウを少しでも役立てたい。行政と地域との橋渡しができるば、との思いだったそうです。

続けられるかもわからないのに法人を立ち上げるのは無責任ではないかという声もあったとか。「何もせず社会が後退するより、一歩を踏み出すことで状況がそこに踏みとどまることができるかもしれない。私たちのような、現役を退職した世代が多少の汗をかいてまちのためになればと思つて活動をしています」
(次ページへ)



ククロスロードゲームから防災の会話が盛り上がる



想定外を想定する

活動を始めると防災訓練・消防訓練・講話と、あちこちから依頼の声がかかりました。とある会社からは「いつもとはちがう防災訓練を」との相談。6分のお決まりの話より、講話は最小限にし、参加者同士での話し合いの時間をできるだけもちます。事前に従業員アンケートをして、「日ごろから感じている」社内の危険箇所・ケガしやすい

場所、燃え広がりそうな所」を書き出しておき、話し合ってもらいます。

実際にそこで働く人たちが自身が自ら考え行動しないと本気の防災にはつながらないからです。

時々、消防設備も完璧に作動、ケガ人もいない、従業員は全員持ち場にいるといった条件が整いすぎている、いわゆる「ママゴト訓練」を見かけます。実際の

災害では熱や煙が充満していたり、暗闇だったり、パニックの叫び声で混乱していたり、ケガ人だつて出るでしょう。あえて想定していない場面を想定して訓練することが大切です。自分の周りやこの職場では起こらない、との思い込みが最も怖いことなんです」と岩佐さん。

「日ごろから話し合い、会社やまちの意見を共有しておくことが防災まちづくりの大きなポイントだと思っています」。

岩佐さんは定年を迎えたときに「自分がかわいそう」と思ったとか。これまでに消防の仕事で身につけた様々な知識・技術を活かせる場がなくなる寂しさの表現です。この思いが原点になったのかも知れません。消防士OBたちによる本気の「防災まちづくり」私たちの心強い味方です。



▲現在、考案中のSOSバンダナ
被災時、「助けが欲しい」ときは黄色を「誰かの力になれる」ときは緑を向けて家の前に掲げます。

FEATURE

大人になったあなたに、絵本を届けます。

暮らしに絵本時間 澤村忍さん(52歳)

暮らしに絵本を

「暮らしに絵本時間」では、気分転換や、ときめくものなど毎回テーマを決め、それに沿った絵本を6〜7冊紹介します。参加者の定員は8名。少なめに思われるかもしれませんが、これが輪になって絵本が見える心地よい空間となります。

8名といえども、見知らぬ大人同士が集まれば多少はキンチョーするもの。澤村さんは、まずは一冊読んでから、その絵本を題材とした質問、例えば「私が好きなパン」といったお題で参加者に自己紹介してもらいます。自己紹介も名前だけでなく、だけのニックネームにするなど、みんなが楽しい場を創っていく工夫はさすがです。

場が和んだら、一冊ごとに参加者同士で感じたことや気づいたことなどをお話したり、澤村さんが作家や作品にまつわるエピソードを紹介したり。参加者は一人ひとりの感想や気づき、視点が自分とはちがうことに驚きます。たとえ自分と感想がちがっても、否定することなく参加者みんなが笑顔で受け止めていくことで、作品への理解はさら



澤村忍さん

に深まり、見方や楽しみ方が広がっていきます。

「暮らしに絵本時間はいつも、心地よい空間、絵本好きの人たちがつながる場となること、を心がけています。絵本を読むだけで、聞いている人は自然と笑顔になってくれます。私もその

絵本がある、というだけでそこが`あったかい、空間になるから不思議。ページをめくるときのワクワクとドキドキ。何度読んでもらったかわからない大好きなお話…。子どものときなら親や家族と、大人になってからは子どもや孫と過ごす`あったかい、時間の横には、いつも絵本がありました。

絵本セラピーの資格も持つ澤村さんは、絵本を通じた様々な活動を行っています。今回は大人に絵本の素晴らしさを届けるユニークな活動「暮らしに絵本時間」について聞きました。

いつしか絵本が縁遠くなってしまった人、「絵本は子どもが見るもの」と思っていたアナタ、必見です。

*「はじめてのおつかい」
筒井頼子作(福音館書店・1977年初版)



笑顔をもらって幸せな気分になります。大人になって絵本を読んでもらうという経験、一度試してみませんか」と澤村さん。

一生、楽しむ

でも、どうして大人に絵本なのでしょう。「もちろん、子どもたちに良い絵本を届ける活動もしています。でも、小さな子どもが一人で本屋さんや図書館には

行くことは難しい。そう、やっぱり大人がその絵本の良さを知らない、子どもたちには届かない。それでこの活動を始めました」。なるほど、です。

それに絵本は読む人の年代や経験によって見方も変わるようです。

「たとえば『はじめてのおつかい』*という絵本があります。長く愛されてきた絵本です。子どもが時なら主人公の「みいちゃん」になりきって読むことが多いのですが、大人になって読み返すと、お母さんやお店の方など、子どもとはちがった目線になっていることに気づきます。あるいは登場する店の様子、公衆電話や車・スポーツカー、大福50円の貼紙などに当時を懐かしんだり、再発見を楽しんだり。絵本って、一生楽しめるんですよ」

時代を超えても色あせず、読む人の立場や経験によって、伝わるものや感じ方も変わっていくわけですね。

絵本の方

家には約500冊の絵本棚、娘さんが大学生になった今でも一緒に図書館の絵本コーナーに通うという澤村さん。大人と絵本の関係について、もう少し聞きたくなりました。

「大人になると何かと忙しくて、ゆつくり本を読む時間もままならないという話をよく聞きます。本離れしている人も多いように思います。そのような人にこそ絵本をおすすめしたい。絵本なら読むのは、だいたい5分くらい。その短い時間に人生の教訓や教育的・哲学的な話、ためになる話などがギュッと詰まっています。それは大人になっても、いや大人だからこそ、ハッとさせられることも多くあります。こんな短時間で大人の大人が

引き込まれるのは、絵本そのものに力があるからだと思うんです。だから、大人にこそ開いてほしい、読んでみて欲しいと思うんです」

絵本の楽しさを伝える澤村さんは、若いパパやママから絵本の上手な読み方を質問されるとか。そんなとき「上手に読むうなんて思わないでください。上手に読む必要もありません。読んでいる時間、子どもと触れ合っている時間に意味があるのだから。子どもはきくと、その時間そのものを楽しんでいますよ」と答えるんだとか。



▲イメージ



暮らしに絵本時間

6/27(木)・8/1(木) (7月はお休み)
13:30~15:30
月1回ペースで活動
詳しくは長寿の郷口八荘
☎563-5021

澤村さんが「暮らしに絵本時間」を始めて3年。最近は絵本の読み聞かせにピアノ演奏を併せたイベントや、書店での親子向け読み聞かせ会など、絵本を通じたつながりで仲間が増えたり、活動の機会をもらったりと幅が広がっています。

生きづらさを抱えている人が多いと言われていたり、時間に追われ親子のコミュニケーションがままならないこともあるこんな時代にこそ、「暮らしに絵本時間」の可能性を感じました。

どうです、次の休みには本屋さんや図書館に行ってみませんか。あなたの心をノックする絵本が見つかるかもしれません。

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。



知りませんか

タマが見つかってよかった。それにしても、このまちの動物たちの情報網、ネットワークは時にすごい力をみせてくれるようです。

さて、掲示板の話。今回は掲示板で知らせたことから解決につながりました。ここで質問です。あなたはどれくらい掲示板を見えていますか、あなたのまちでは掲示板を上手に活用していますか。家に回ってくる回覧板に比べ、自分から見に行かないといけないう掲示板の効果はわかりにくいかもしれません。にも関わらず、掲示板の管理をする役員さんの負担はなかなかのもの。手間がかかる割に効果がわかりにくい、となると役員さんの徒労感にもつながりかねません。そう、掲示板は普段から見られていることで、いざという時に強い力を発揮してくれるのです。

掲示板の使い方やルールは、まちによってちがいます。私 (com-com) のまちでも、掲示板に貼ってあるお知らせとほぼ同じものが回覧板でも回ってきます。そこで、回覧板とは少しちがう役割を持たせてみるというのはどうでしょう。「犬の赤ちゃんが生まれました」「ベビーカー譲ってくださいませんか」など掲示板の一角を住民の誰もが使える『お知らせコーナー』にするとか、「〇〇ちゃんがコンクールで表彰されました」や地元のスポーツ少年団の試合結果など、他愛ないかも知れないけどみんながどこかハッピーになるような身近な情報を出すのもいいですね。子どもの作文や高齢者の俳句の発表の場にするのも、アリだと思います。実際に掲示板を使って隣のまちと情報交換をしているところもあるようです。

掲示板はまちのみんなのもの。そのまちらしいアイデアとやり方でユニークな掲示板がたくさんあれば楽しそうですね。

これってやっぱり、みんなの問題。



さく・com-com / え・まんじゅう

読売新聞

今こそ新聞を読む

読売センター草津西 / 有限会社 雄
〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205
ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索! または、今すぐ右のQRコードにアクセス!

SUMAI

スマイ印刷は、
自然環境を守る地球に優しい
製品づくり「エコ印刷」に
取り組んでいます。

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com
本社:520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

より道 こ道



「いつもの道、から
一歩それてみる。
大人にこそ寄り道の
時間が必要だ。」

第17回・南笠・旧東海道の散策

石田はま子

今回は、以前「萩の玉川」飛脚の喜助とおつゆの悲恋で紹介した弁天池から旧東海道を南へ進みます。弁天池は「東海道名所図会」にも描かれた灌漑用池です。弁天島の浄財弁財天に参拝。進んだ先の狼川には民話が残っています。

村娘は甲羅に傷を負った子亀を助けました。後年、傷痕の残る大亀に会い、田畑を荒らす狼の退治を頼んだところ、数日後に喉を噛み切られた狼が川に浮いたそうです。以来、狼川・大亀川と呼ばれたと伝えられています。

バス停横の環境モニュメントには「きれいな風をみんなでおかそう」の文字。咲き誇る色とりどりのパンジーが、南笠東学区のまちづくりへの思いに重なります。児童遊園内の小さな槽には、「東海道狼川」「日本橋より469km」と記され、「大亀川の渡し」と書かれていました。かつて狼川は天井川でした。明治天皇東行の際の絵図に「狼川の渡し」が描かれています。

東海道沿いには、前庭に松を植え、屋根に「煙出し」を設けた家や蔵も見られ、狭い道筋に旧道の面影が残ります。

「岡田屋旅館」の看板に誘われ左に折れると、ありました。旅館の前庭に「従是東南膳所領」の石碑が。近くの東海道筋の旧家には「従是東北菰野藩」の碑もあり、ここ南笠が膳所藩と伊勢の菰野藩の領土だったことが判ります。高さ50cmほどの小さな領界石も大切に残されていました。

道筋にはチューリップ、サクラソウなども植えられ春を満喫できました。さらに進めば、かつての「栗太」のいわれとなる栗の木が多くあった栗林町(大津市)に入っていきます。

道筋にはチューリップ、サクラソウなども植えられ春を満喫できました。さらに進めば、かつての「栗太」のいわれとなる栗の木が多くあった栗林町(大津市)に入っていきます。



ひとりで悩まないで！まずはお電話を！
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512

住所：草津市大路1丁目1-1 TEL:932 4F 4 0 6

センターへの相談は無料です。

- くらしサポートセンターしが TEL: 077-522-4600
- くらしサポートセンターしが大津 TEL: 077-572-7720
- くらしサポートセンターしが彦根 TEL: 0749-27-3500
- くらしサポートセンターしが近江八幡 TEL: 0748-37-5522



株式会社 三井田商事

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は55周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

募集 **ひとキラ** イキイキ活動賞

地域の課題解決や魅力創出のための5年間を超える活動に「ありがとう」の気持ちを伝える「イキイキ活動賞」へのエントリーを募集します。

- 部 門** 「いいね! 地元の力」部門
「なるほど! 市民活動」部門
- 授 賞 数** 2部門合わせて上限3団体
- 授賞内容** 賞状および副賞**5万円**
- 締め切り** **7月31日(水)** 必着

▼老上ふれあい農業高校



ほほえみの会 ▲

問合せ (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課
草津市西大路町9-6 ☎565-0477 ☎562-9340
HP まちサポ <http://kusatsu-spp.net>

前回の答え たくさんのご応募ありがとうございました。



※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で個人情報を使用することはありません。

予告 まちづくり活動助成

あなたの一步、応援宣言。

自分にできることで、まちや誰かの役に立ちたい。
そんな“あなたの想い”に助成します。

募集予定 **9月下旬~10月31日(木)**

まち語り 一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。その一瞬を捉えた一枚の写真から“これから”のコミュニティを見つめます。

東京オリンピック 聖火リレー

1964年(昭和39年)10月10日から24日までの15日間にわたり、東京でオリンピック競技大会が開かれました。アジアで初のオリンピックで、戦後の高度経済成長の象徴ともいわれ、拳国一致で土木事業などインフラ整備に邁進しました。この年に東海道新幹線が開通。また、前年の1963年には名神高速道路の尼崎~栗東間が開通しています。

この東京オリンピックを、地方でより身近に感じ取ることとなったのが聖火リレーでした。聖火は1964年8月21日にオリンピアで採火され、アジア地域12か国を経て、9月7日に沖縄へ到着。さらに鹿児島、宮崎、千葉へ空輸されたのち、4つのコースに分かれてリレーされ、10月9日の夜に皇居二重橋前で合火。翌10日の開会式当日に、国立競技場の聖火台に点火されました。

国内での聖火リレーには100,713人が参加しています(第18回オリンピック競技大会公式報告書)。滋賀県は第2コースで、9月29日京都府庁で一泊したのち、翌30日には滋賀県庁から琵琶湖沿いに東へ向かい、瀬田川を渡って草津市を通過しました。写真は草津の追分道標の傍を通過する聖火リレー走者です。

この年は草津市が誕生して10周年目にあたり、聖火リレーの通過とともに、草津市民もオリンピックムードに沸き立ちました。

文・草津街街道交流館



草津を通過する聖火リレー ▲

見つけ ズキリ!



初夏の光が湖面にきらめく季節。琵琶湖の風を感じながら散歩・ウォーキング・サイクリングやバーベキュー…と、琵琶湖岸はにぎやかです。

下のイラストには上のイラストとちがう部分が5か所あります。ちがう部分を答えてね。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想 を添えて下記まで。
FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

※切 7月1日(月) 当日消印有効

宛先 〒525-0037 草津市西大路町9番6号
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティざつ6月号」係
☐ com-com@mx.biwa.ne.jp ☎ 562-9340

プレゼント

応募いただいた中から、ai彩ひろばグリーンロフト内「カフェ カイマナリオ」(北山田町)ご利用券(1,000円相当)を5名様にプレゼント。緑や花に囲まれたai彩ひろばを散歩してカフェでほっこり。



イメージ▲



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

草津の匠

第5回

漫画家 杉尾 尚子^{ひさこ}さん 追分南・62歳



気がつけば描いている子だった
子どものころから、美術でなく漫画が好きだった
漫画好きの少女は16才で漫画家となった
漫画は趣味から仕事に変わった
雑誌に掲載されること、本になること、素直に嬉しかった
同時にプロの厳しさも味わった
一度はペンを置き、漫画はまた趣味に戻った
やがて少女は大人になり結婚
空いた時間に描いた漫画が認められ、プロに戻った
あれから重ねた時の分だけ、視界がひらけ、力みも抜けた
真っ白い紙に、素早く線を入れていく
みるみるうちに、人が浮びあがり、命が吹きこまれていく
老若男女、性格、表情、動作、何もかも線だけで描き分けていく
彼女は言いさす
「今まで描くことだけは嫌にならなかったことがない」と



熊谷栄三郎の 徒然草津 つれづれくさつ

第33回

ため池と琵琶湖

熊谷栄三郎



五十年も忘れていたことを、実に生き生きと思い出した。こんな話である。

五十年前、私は仕事で草津へ越してきて、一年余ほど市役所へ出入りした。当時の市役所は込田池という広い池の横にあったが、私が去つて数年後、その池を埋め立てた上に新しい庁舎が建てられた。私がい出せるのは昔の市役所と、埋め立て前の込田池とだ。

で、その頃のある日のこと。市役所の職員さんが冗談めかして言ったのである。

「昨日、甲賀郡の山ん中の人が出来てな、込田池を見て言うんや。へ、さすがに琵琶湖は広いですなつて」。私は大笑いした。

甲賀の人は冗談をしゃべつたのかも、と今も思う。とまれ、この話には東海道や中山道のおかげで、江戸や京都の都会人とも語り会つてきた草津人の心がうかがえる気がする。

さて最近、所用で市役所を訪れた私は周囲を散歩して、あの懐かしい込田池がすっかり消え去つているのに今更ながら驚いた。

同時に五十年前の市の様子を

思い出した。

至る所に大きなため池があった。丹波の山育ちの私には珍しい光景だった。そういえば、現代的な市街地になっているJR草津駅のすぐ近くにさえ湿地や池があった。今は市内の池のほとんどが埋められて跡形もない。

調べてみようとして『草津市史』をめくつてみた。昭和五十四年ごろまでに主要な十八の池が埋められた、と書かれている。総合体育館などが出来た砂池、山田小学校が出来た口無池…。

各池の埋め立ては、琵琶湖の水を全市の水田に配る草津用水が昭和四十七年に完成したことと呼応しているという。それまで草津近辺は水不足で、「乾く湖国」とさえ言われていたらしい。私は草津という土地の本当の姿に気が付かず五十年も生きていたのだ。

世基池の跡の草津第二小学校で校門そばの校歌碑を見ていたら、保護者という婦人が横で歌つてくれた。「世基の池の笛鳴りは今ふり仰ぐ学舎に 大きな夢を描きつて…」。

読者の声

たくさんのご意見
ありがとうございます。

3/15号「数字でみる“草津の平成”」に寄せられた感想から

- 「教えてください。あなたの国のこと」を家族で読んだ。私もKIFAのイベントに参加し、草津で働きながら日本語を勉強している人と仲良くなった。ちがう文化に触れることは楽しい。
- 在住外国人の日本語教室オリープについての記事に興味深かった。在住外国人の皆さんと日本語スタッフの互いに学び合う姿勢に感動。
- 草津市も近隣の市にも工場などができ、外国の人をよく見かける。お互い気持ちよくあいさつができ、住みよい草津であってほしいと思う。
- 市立図書館の蔵書数が517,000冊には驚き。下水道普及率もすごい。南草津駅の利用が増えたのは学生が多いからかな。
- 草津に住み70年。草津が変わっていくのがいいような、悪いような複雑な気持ち。
- 平成を回顧し30年間の移り変わりを見たデータは、自分の身近に置き換え、平成も記憶に留めるよききっかけだ。
- 「草津の匠」のコーヒー焙煎職人の記事がよかった。おいしいコーヒーが飲みたくなった。

「コミュニティくさつ」は、 みんなでつくる まちづくり情報誌です！

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえる市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身のサークルや団体メンバーに本誌を配布してくれる人



● **申込み・問合せ**
(公財)草津市コミュニティ事業団
コミュニティくさつ編集部(まちづくり振興課内)

ポイント

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

私のストレス解消法



「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

コミュニティ 2019 JUN 121号 6

公益財団法人草津市コミュニティ事業団
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町9番6号(まちづくりセンター内)
TEL 077-565-0477 FAX 077-562-9340
E-mail com.com@mx.biwane.jp HP http://kusatsu.or.jp

まちづくりセンター
草津リブスホール
長寿の郷ロクハ荘
TEL 562-9240 FAX 564-3838
TEL 564-5815 FAX 563-5021

ロクハ公園(草津市公園事務所) TEL 564-3838
草津ファミホール TEL 561-2345

【題字】中村明雄 【印刷】株式会社アイン印刷

